



発行所  
太平山頂上鎮座  
太平山三吉神社総本宮  
宮司 田村 泰教  
秋田市広面字赤沼3の2  
電話 (018) 834-3443  
F A X (018) 834-3444  
<http://www.miyoshi.or.jp>



太平山頂上 空輸作業 (6月6日)

宮司 田村 泰教

天候不順による二度の順延を経て、太平山山頂への空輸が無事終了した。ようやく今年も登拝者を迎えられる準備が整った。▽それに先立ち、先月初旬には、神社協力会員と山岳関係者に同行頂き、荒天の中、残雪を踏みしめて山頂の事前視察、準備作業を行った。▽奥宮の扉を開けた途端に鼻につく、焦げた臭い。一部が焼けて炭化していた。おそらく冬季間に、雷を下から拾ってしまい、逆流したのだろう。参籠所の配電盤類も真っ黒になっていた。▽小欄では幾度も、人智を超えた自然の力の大きさについて触れてきた。またしても、その怖さというものをまじまじと思い知ることとなった。▽しかしながら、ややもすれば最悪の事態も想定されただけに『よく火が途中で収まってくれた。』というのが正直な思いだ。大神様の御守護に只々感謝する他ない。▽先代宮司が急逝してから、間もなく二十年。事故や不慮の事態等も相次ぎ、決して平穏な期間では無かったが、振り返れば、いつも大神様の御神徳と心ある方々のお力添えに助けられてきた。その有難さを胸に刻みつつ、今夏も事故のない奥宮奉仕に努めたい。

## 「富士山」の命名

神武館 和 田 満 春  
剣道師範

我々が崇章は「富士山」の命名で終わって敬してやまてきている。物語の成立年代ははっきりしない三吉神きりせず、今から千年以上前の社の奥宮は九世紀末に書かれ、作者もわからない。

太平山山頂に鎮座している。古来代の人々は山そのものを神とあがめ、特に噴火が続いている山あらすじは、竹の中から発見さには「神」が存在しているとのれた3寸(9センチ)ほどの小信仰があった。日本で一番高いさな女の子は、すくすくと成長山「富士山」。その「富士の山」して美しい女性となった。やがて五人の貴公子から結婚を申し込まれるが、ことごとくそれを断り、8月15日の満月の夜に、月からの使者が迎えに来て月に去っていくという物語である。

昔むかしで始まる「かぐや姫」の物語は日本人の誰もが知っている物語。それは「竹取物語」の中に書かれている。その最終て天人から「かぐや姫」を守つ

たが、天からの使者を見ると兵士たちは手足がしびれて動くことができなかつた。一方「かぐや姫」は別れを悲しみ、翁と帝に死なないという「不死の薬」とぞ、言ひ伝へたる。」

と、手紙を与えた。やがてかぐや姫は、百人ほどの従者をしたがえ天に昇っていった。残された翁と媪は血の涙を流し悲しみ、病に臥せてしまった。唯一かぐや姫が残していったのは「不死の薬」と「手紙」であつた

が、老夫婦は、姫が居ないこの世には生きていても甲斐がないと。また帝も同じ思いで、あなたと会うことができなければ死なない薬は必要がないと飲まなかつた。やがて帝は大臣を呼んで「いづれの山か天に近き」と尋ねると「駿河(静岡)の国にあるなる山なむ、天に近き」。帝はその山の頂にて「不死(ふじ)の薬」と「手紙」を燃やすようにおっしゃられた。そして



## 言挙げ 61

## 昨年を振り返って

権禰宣 佐々木 佳 祐



私が奉職を構えについてなどよく知りませ  
致しまして一 年と少しの月も交えたアドバイスを頂き、次  
日が過ぎまし の奥宮視察では無事何とか太  
た。祭典や行事を通して、少し 平山に登りきることが出来まし  
でも皆様に名前を覚えて頂けま た。しかし私が山の行事などで  
したでしょうか。一年目は分か 登山する際は、雨に降られるこ  
らないことが多く戸惑うことば とが多く、その日も山頂での作  
かりの日々でしたが、先輩方の 業は身も凍えるような寒さで、  
ご助力を頂きましたが、頑張ること 春の陽気は微塵も感じられない  
が出来ています。 冬のような気温でした。

今回は、私の中で一番記憶に あいにくの雨模様は、山道整  
残っている山の祭典・行事のこ 備作業や開山祭でも同様で、特  
とを記したいと思います。まず に私が神人奉仕させて頂きまし  
初めは前岳の冬囲い取り外し作 た開山祭では、バケツをひつく  
業になります。今まで一度も登 り返したかのような土砂降りの  
山をしてこなかった私にとつ 雨の中、5時間もの時間を掛け  
て、正しいリュックサックの背 御神体をお遷ししました。普  
負い方から山の登り方やその心 段我々は山頂奉仕のために旭

口から登っています。開山祭で 崇敬を頂いていることを有難く  
は最も古い太平野田口から登る 思います。  
為に、大雨に加え、慣れない登 此の一年、多くの出来事があ  
山道に四苦八苦しながらの登山 り、奉職当時よりも神職とい  
となりました。 立場が、いかに神と人との仲を

そうして登り終えた先の山頂 取りもつという立場に立ってい  
では休息もそこそこに、奥宮で るのかを実感いたしました。こ  
もお祭りを齋行致しました。私 れは神職養成機関の大学に通っ  
も祭員としてご奉仕いたしましたし ました。私  
たが、このような悪天候の中、 ることが出来なかったものだ  
何時間も掛けて大人数が無事山 思います。その実感と共に、一  
頂に辿り着けることは、大神様 年間の進歩が今の私の力になっ  
達のご守護があつての賜物では ていることを信じて、これから  
ないのかと思います。そのあと も神社の為、氏子崇敬者の皆さ  
の直会では、皆さん登っていた まの為に力を尽くしていきたい  
時の大変そうな表情とは一転し と思います。

て、談笑している様が見受けら 今年も半分過ぎました。山は  
れ、正に苦楽を共にした仲間と これからが本番となりますの  
いう印象を受けました。里宮の で、ご都合が宜しければ、どう  
祭典では見かける事のない、山 か太平山の方に足を運んでみて  
のお祭りならではのものを開山 下さい。



# 平成29年 太平山 山開きのご案内

去る6月3日、本年の物資空輸作業を無事終了いたしました。  
 霊峰<太平山>では、本年も9月末まで奥宮並びに山小屋を開所し、神職関係者が常駐いたします。  
 近年は山ガールを始めとする若い方や、<新日本百名山>として県外からの登山者も増えております。  
 ご地元や崇敬者の皆さまのご登拝をお待ちいたしております。

## ～冬季被害報告～



落雷の被害によると思われる炎上痕が奥宮にあり、山小屋の配電盤・コンセントも使用出来ない状況となりました。更に山頂の鳥居も一部が欠損しました。

また、積雪により旭又駐車場が崩壊し、迂回路を使用頂いております。



## 《本年の主な登山会の予定》

- ・奥宮・山小屋開所 6月 5日(月)～9月29日(金)
- ・関係市町村合同登山 6月11日(日)
- ・太平山山開き(開山祭) 7月17日(月・祝) 御神体を山頂へお遷しします
- ・第7回山ガール登山 7月22日(土)～23日(日)(1泊2日)
- ・神社主催太平山登ろう会 9月 2日(土)～3日(日)(1泊2日)
- ・太平山チャレンジ(ザブーン主催) 9月10日(日)
- ・閉山祭 9月17日(日) 御神体を里宮へ遷御

※各種登山会の詳細等は、お気軽に神社にお尋ね下さい



※丸舞(岩見三内)コースは橋が改修されました。軽井沢(国民の森)コースは草が覆っています。

## 神武館だより

# 水戸大会の思い

阿部 佐美



少年剣道の集大成となる水戸大会に、28年度は久しぶりに三吉、田村の2チームが会場出来ました。

三吉チームは昨年から引き続き6年生5人のチーム。昨年の快進撃を胸に、コート優勝でメダル獲得が目標でした。

まさかの2回戦敗退で、全国大会の厳しさを実感しました。

田村チームは初の全国大会出場、初戦突破を目標に掲げたの出場でした。本番でどん

どん勝ち進み、3回戦敗退ではありましたが、今後に繋がる素晴らしい試合内容に感動しました。

6年生は、小学生の剣道のすべてを出し切った試合。水戸大会までの6人それぞれの頑張りやチームワーク、絆は

何らかのかたちで後輩へと引き継がれることと思えます。神武館で剣道を続けてきて本

当に良かったです。中学生になっても、全員が剣道を続けています。これからも神武館の一員としても、稽古、試合に参加していきたいと思っております。

和田先生、菅野先生、長旅を引率していただきありがとうございます。田村館長、佐々木後援会長、日頃から門下生を支えていただき感謝しております。

日々、子供達を応援し、時にはげきを飛ばし、時には一緒に涙し、見守っていただいた皆様の、

ありがとうございました。



## 第59回

## 『太平山に登ろう会』のご案内

太平山頂上奥宮に参拝し、山小屋に1泊いたします。夕陽や星空、ご来光を見る絶好のチャンスです。

神社関係者が同行案内しますので、初心者の方、おひとりでのご参加でも安心です。是非奮ってご参加下さい。

記

- ・期 日 平成29年9月2日(土)～3日(日) (1泊2日)
- ・集 合 午前10時40分 里宮 (早目の昼食をとってから集合)
- ・参加費 9,500円 (宿泊・交通費・保険料・初穂料・食事代・記念写真代等一切を含みます)
- ・申込み 10日前までに係(今野)までお申込下さい。(定員20名)
- ・登山路 旭又(仁別)コース往復(時間はあくまでも目安)



平成28年

## 「登ろう会」「山ガール」日程

## 1日目

里宮 集合 安全祈願後出発→旭又園地→御滝神社→御手洗(みたらし・冷たい湧水・ブナ林)  
→太平山山頂祈願祭の後夕食直会【山頂山小屋泊】

## 2日目

(朝拝行事・朝食)→御手洗→御滝神社→旭又→仁別森林博物館見学

## 第7回 『山ガール登山』のご案内

初心者  
大歓迎

今年で第7回目となる女性限定の登山会。秋田市のシンボル霊峰太平山に登り、山頂で1泊します。登山未経験の方、初心者の方、1人でのご参加も大歓迎です(山岳ガイド同行)。

毎年恒例の懇親会では、お酒を飲みながら女性同士で大いに盛りあがります。是非この機会にご参加下さい。

- 【期 日】平成29年7月22日(土)～23日(日) (1泊2日)
- 【集 合】午前9時 里宮
- 【対 象】健康な方(20代～40代の女性限定)で、体力がある方
- 【参加費】7,000円(宿泊・食事代、初穂料、保険料、写真代等含む)

※山道の運転に自信のない方は、神社の車にて登山口へ向かいます。

【申込み】電話・FAX・メール等。7月17日締切り(定員17名)。担当：和田・平賀



平成28年

## 1日目

途中御手洗にて昼食・休憩→山頂着15:15頃

## 2日目

ザ・ブーン着11:45頃(お風呂・昼食後解散)

※ご不明な点(荷物・服装など)に関しましては、担当和田迄ご連絡ください。

夏越の大祓式のご案内

○日時 六月三十日(金) 午後三時(里宮)

この半年の間に知らず知らずの内に自分の身に積もった罪穢れや災いを、形代(かたしろ)や切麻(きりぬさ)、また茅の輪で祓い清め、夏の邪気を祓い、残る半年を心身ともに清々しく過ごすことをお祈りいたします。

是非、ご家族皆さまお揃いでご参列くださいませ。

《形代でのお祓いのしかた》

- 一、形代にそれぞれご家族の氏名・生年月日をお書き下さい。
- 二、形代で全身を撫でて祓い清めます。特に病気やケガなどで具合の悪い所を入念にお祓い下さい。
- 三、次に形代を両手で持ち、思いをこめて大きく三度息を吹きかけて下さい。

●以上のお祓いを行った後、ご家族の分をまとめて当日ご持参下さい。

●形代は神社にご用意しております。必要数をご連絡下さい。

尚、ご都合のつかない方は、事前にご持参又はご郵送下されば神事ご奉仕の上、ご神符をお送り致します。

茅の輪神事

水無月の

六月三十日(金)

午後三時齋行

なごしの祓する人は

千歳の命延ぶといふなり



第32回 太平山写生会

秋田のシンボル太平山をかこう!!

7月8日(土) 午前 9:00

太平山三吉神社境内周辺集合



日 時 平成29年7月8日(土)  
午前9時開始(随時解散)  
【荒天の場合は7月9日(日)に順延】

場 所 太平山三吉神社境内周辺

主 催 太平山写生会実行委員会

後 援 太平山三吉神社総本宮

協賛予定 秋田魁新報社 秋田中央郵便局  
東日本電信電話(株)秋田支店 秋田銀行広面支店  
北都銀行広面支店 秋田信用金庫広面支店  
秋田県信用組合東支店 株式会社マルシン  
一ノ関時計店 花のヤマト 株式会社ぺんてる  
(有)木曾塗装 汎山書道教室(順不同)

参加対象 幼児、小・中学生、保護者

参加申込 当日集合場所で受付

写生対象 太平山及び神社建物、境内からの風景など

様 式 水彩、クレヨン、パステルなど自由

審 査 市内小・中学校の先生

展示予定 秋田中央郵便局 秋田銀行広面支店  
北都銀行広面支店 秋田信用金庫広面支店

表彰式 8月20日(日)午前9時  
於：太平山三吉神社齋館  
入賞者に賞状と副賞を授与

# みよしスケッチ



春季例大祭 (五月七日・八日)  
天候に恵まれ多数のご参列のもと斎行いたしました。

春季例大祭 (五月七日・八日)



中央支部参拝旅行 (三月九日・十日)



山頂準備作業 (五月十一日)



食と芸能大祭典 (五月十七日・十八日)  
三吉梵天祭も熱演。

食と芸能大祭典 (五月十七日・十八日)



札幌三吉神社例祭参列 (五月五日)



神社協力会総会 (四月二十日)

平成29年  
開山祭

恒例により平成二十九年開山祭を左記により斎行いたします。本年も多くの方に神人奉仕、また祭典へのご参列賜わりますようご案内申し上げます。

日時 七月十七日(月・祝) 午前十時  
於 里宮拝殿

この祭儀は古式に則り、里宮での神事後、神人奉仕の方々により御神体を太平山山頂の奥宮にお遷し申し上げます。(往路・野田口、後路・旭又口)  
○ご参列の方は、七月十日までに係 原田までご連絡下さい。

○神人奉仕・斉館宿 泊希望の方、神人と同行せず別途登拝予定の方は、必ずご連絡願います。  
○神人奉仕者は斎戒沐浴を厳守下さい。



平成29年 下半期主な神事予定 (山関係は5頁参照)

10月1日(日)	午前10時	印章供養祭	感謝を込めて印鑑を供養するお祭
	午後1時	人形感謝祭	愛着ある人形に感謝を込めてお焚き上げする神事(人形は9月20日よりお預かり致します)
10月16日(月)	午後6時	秋季例大祭宵宮祭	秋の恵みと1年のご守護に感謝する秋の大祭 県内外からの多くの参詣者で賑わいます
10月17日(火)	午前11時	秋季例大祭当日祭	
10月21日(土)	午前8時30分	歩こう会	近隣の社寺・史跡を歩き、健康増進を図ります
11月23日(木)	午前9時	新嘗祭	五穀の収穫に感謝する祭事
12月13日(水)	午前10時	煤払い式	境内建物のすすを払い、新年を清々しく迎えるための恒例行事
12月中旬		神符守札遷霊清祓式	新年に頒布するお札、お守りをお祓いいたします
12月31日(日)	午後2時	師走の大祓式	1年の罪、穢れを祓い清め、心新たに新年を迎えるための恒例神事

※毎月8日・17日は月次祭(午前10時)がございます。  
※各祭典ともどなたでもご参列頂けます。お気軽にお問い合わせ下さい。



歩こう会



秋季例大祭



師走の大祓